阿知須町広報

№ 222　この広報紙は毎月1月回各ご家庭にもれなく配布.

昭和45年5月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
印刷 阿知須砂合よしの印刷

町の住民登録人口
（昭和45年5月1日現在）前月比
世帯　1,947世帯　＋14
人口　8.076人　＋59
（男 3.791人 女 4.285人）
国勢調査(昭和40年10月1日)
世帯　1.892世帯
人口　8.197人
（男 3.828人 女 4.369人）

||| ふえる住宅・伸びる人口 |||

新たに「前山」区を設置

合板工場社宅 将来は百世帯にも

（アパートが並ぶ前山区）

南祝区と目の山の中間どころの丘陵地に若山合板工場の社宅街ができ、町では四月からこを「前山」区として新たに行政区を設けました。

本町の人口は昭和三十一年八月の九千百五十一人をピークとしてその後、漸減、四十三年十二月末には七千八百四十五人まで減ました。

しかし、その後は三十八年に誘致した若山産業阿須倉合板工場の拡張計画の成果が現われ、町外からの転入者がふえるようになりました。このため同社では南祝のすく南側、目の山のふもとに社宅を建てるようになり最近では、階建アパート七棟、平屋二百、計四十八世帯が入れるようになりました。

そこで町では近くの字名をとりこの二画を「前山」区として四月から新しい行政区を設けたものです。これで町内の行政区は合計四十になります。

なお同社の社宅は千鳥が浜にも建設中で、ここには二十三世帯が入れる予定です。さらに増築計画もあるのでこれを合わせると将来は百世帯くらいになる予定です。

県下の殖んとの地区で人口流出を嘆いているとき、こうして人口がふえるのはうれしい現象といえましょう。

参考に町内各行政区の人口と世帯数（四月一日現在）を記すと次のとおりです。

〈部落名〉	〈人口〉	〈世帯〉
小古郷東	一四七	三一
小古郷西	一八六	三九
小古郷南	三一一	七〇
北祝	二一六	五一
南祝	二六五	九一
飛石	二五四	六二
岩倉西	一四九	三一
岩倉前	一〇八	二六
岩倉西前	一三〇	三〇
岩倉辻	二一六	五一
岩倉上	一六二	三八
旦東	一一〇	三〇
旦西	八三	二〇
旦北	一八二	四四
砂合三	四七八	一一五
砂合二	一七五	四三
砂合一	一八二	五一
浜表	二五五	五九
浜迫	一四四	三九
赤迫	一五二	四一
井関	一六三	三二
野口	一五一	三一
杖川	二五一	二四
河内	一八四	四五
源河	一五八	三七
向井関	二一〇	二六
引野	二三八	四九
仙在	一〇五	三三
青畑	五六	三三
岡八王子	二三	一八
寺河内	一八四	五一
西条	一二〇	三一
門松	一四〇	三二

▲六月一日に商業調査▼

＝卸、小売、飲食店を対象＝

通産省は商業の実態を調べ、将来の行政に役立てるため六月一日現在で全国一斉に『商業統計調査』を行ないます。

この調査は統計法に定められた国の指定統計で、二年に一回行なわれます。特にことしはこの調査が始まって十回目に当り、この間わが国の商業がどのように変ってきたかを知るに重要な時期にも当ります。

調査は卸や小売店の中での法人もしくは個時もを雇っている店②人を雇っていない店③飲食店の三つに分けて行なわれます。

阿知須町では約百七十店が対象となり、県知事から任命された調査員が商店をまわって経営組織、販売先、仕入れ先、販売額など調査用紙に記入していただくことになっています。

記入された内容については統計法による商業統計以外には絶対に内容を外部に漏らしてはいけないことになっており、万一、内容を人に話したり、統計以外に使用した場合は罰せられることになっています。したがって税金に関係ないばかりでなく、商店の不利になるようなこともありませんので正しく記入していただくことをお願いします。

百%が三十団体

優良納税組合を表彰

町には納税組合が四十団体ありますが、これが納税成績を高めるため大きな力となっています。

そこで町では毎年、優良組合を表彰し、その成績に応じて賞金を贈ることにしています。ことしも、先日、表彰式を行ないましたが一〇〇%が三十組合、九九%台が五組合、九八%台が一組合でした。それ以下はわずか三つです。成績は次のとおりです。

（一等一〇〇%）
小東・小西・縄南・縄北・浜・砂一・砂二・砂三・飛石・岩倉・岩前・岩辻・岩上・旦東・旦西・旦北・昌門松・岡・浜表・赤迫・井関・野口・杖川・河内・源河・向井関・引野・仙在・青畑・漁業組合

（二等九九%台）
小南・南祝・東比須・中村・寺河内

（三等九八%台）
西条・岩西前

（番外）
北祝・築地・東

子どもらに

明るいあすを！太陽を！

5月1日～31日児童福祉月間

きれいな町に

ゴミを「捨てない」「拾う」運動

私たちが明るく楽しい生活をおくるために、まず健康であることが大切です。そのためには、私たちのまわりから病気の原因となるものを追放するように、つとめなければなりません。そこで、町ではカやハエなど伝染病の発生源となるものをなくすために今後は、「町をきれいにする運動」を、強く推進していくことにしています。

川や溝にゴミを捨てる人、ゴミ箱の外に捨てる人、そうしたない人のいやなくなるような雰囲気にしたいものです。

また、そうしたゴミの捨て方をしないばかりでなく、見かけた人は注意する。落ちているゴミは拾うような心も、つちかっていきたいものだと思います。

何気なく捨てたゴミから自分がその伝染病にかからないとかぎりません。健康で清潔な町づくりのために「ゴミを捨てない運動」と「ゴミを拾う運動」に協力をお願いします。

『小鳥の楽園』づくり

緑化と合わせて実の成る木を

五月十日から十六日までは愛鳥週間です。小鳥は害虫を捕え、農作物や動物の生育を助けるばかりでなくわたしたちの心を慰めてくれます。このため、小鳥を愛し保護しようということが昭和二十二年から定められた五月十日がバードデーと定められたのです。

現在、阿知須町にはキジやコジュケイ、ハト、ヒヨドリ、メジロ、カワラヒワ、ホオジロ、ツバメ、ムクドリ、ヒバリ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヤマセミ、ヒヨドリ

かしこい消費者になろう

阿知須婦人会の講演より
計画をたてた生活を

阿知須婦人会の総会は四月二十三日役場で開かれましたが、この席で山口県県政課指導主事松田トミさんの「かしこい消費者となるために」と題する講演がありました。松田さんはこの中で「いろいろな情報、宣伝に迷わされることなく、自分で自分を守るように生活設計をたて、個性ある生活を

すること、それがかしこい消費者になるもとです。」と述べましたつぎはその要旨です。

○―むかしの暮しは伝統的生活様式というか、その家の格や家風によって独特な生活が行なわれていました。ところが近年では生活改善とか新しい住まいづくりとかで様式が変り、どの家も一様になりつつあります。花形商品といわれるものが、そろい、新しく建つ家は応接室があるといった具合です。三種の神器といわれたテレビ冷蔵庫、洗濯機の時代が過ぎ3C時代（自動車、カラーテレビ、クーラー）から新3C時代（セントラルヒーティング、電子レンジ、別荘）に移り、次は3D時代（皿洗い機、ゴミ処理機、乾燥機）だといってメーカーは次から次へと新製品を出して消費者をせめたてています。これ必要めていたら一般の消費者はいくら所得があっても たまりません。そこで自分なりの生活設計をたてていくことが大切です。

○―生活設計は長期と短期のたて方があります。長期は結婚、育児、教育、老後などについて考えます。短期は食生活、日常生活等です。その中でかしこい消費者になるにはどうするかということですが、消費活動は自分の意志によって決定することが大切です。「人が買ったから」「店の人に褒められたから」といって買うのはかしこい消費者とはいえません。経済の仕組みを正しく理解し、安全品質、性能、量目、表示などよく確めて買うことにつとめたいものです。

○―例えば、下着は健康を保つためにあるものです。人に見せるためのものではありません。保温品質等を考えて買いましょう。食べ物も健康を保つものです。食べものにはいくらお金をかけてもよいと思います。私の知人はテレビは持っていないが、家はセントラルヒーティングにしています。家中、どこへ行ってもあたたかい湯が出るようにしているのです。これも健康を保つためだといいます。レジャーは職場から解放されて人間性を回復するためには必要です。自分なりの自由な生き方をする。そういうようなレジャーであってほしいと思います。つまり、かしこい消費者とは情報、宣伝に迷わされることなく、計画的に自分のご意志によって消費活動をすることだといえましょう。

人

豚の助産婦 早瀬スミ子さん

いわば「豚の助産婦さん」。扱った数は判らないほど。全くの素人からはじめて十一年、今では「豚の早瀬さん」で近郷に知られた篤農家である。

豚に手を出したのは十一年前三人が集って共同ではじめたのが最初。その後、それぞれ独立して養豚業をめざすようになったが、現在では数百頭かかえて阿知須一の養豚家になりしあがった。

豚は生後三十、四十日ぐらいで離乳、八カ月ぐらいで交配できるようになる。大体百十四

日で出産するが、出産が近づくと豚自身がワラを寄せて巣をつくる。それを見届けて生みやすくしてやる。それが女性であるだけによく心が通じるらしい。最初のころは生まれ出る豚のヘソの緒を切り、その先を糸で結んだり身体をふいたりしていた。用心しないと親が押しつぶすこともあった。親の乳房より子の数が多くて乳が足りずに死ぬこともあった。寒いときは温めてやり豚舎で寝ることもしばしばだった。

ところが昨年から出産用の鉄枠を作り、これに入れて生まれるようにした。親があばれないので押しつぶすおそれがない。ヘソの緒もゴロゴロするうちに自然にとれる。拭いてやることもない。見事な省力化だ。それだけ飼育にうとめればよい。そうして扱った数は見当がつかない。普通、一頭が十匹ぐらい生むが一ばん多いのは二十二匹だった。体験からすると発情期と交配のタイミングによるのではないかという。

それだけに出産に当っては他所から面倒をみてほしいとの依頼もある。

家は養子の定雨さん夫婦とその子供三人を合わせて六人。それに大が三匹、鶏も数羽。これに手頭の大世帯である。飛石の自宅は今年生まれ。

交通安全のために

カーブミラーを割らないように

道路がカーブしたところや街角にカーブ・ミラーやアドバイス・ミラーが立ってありますが、これが心ない人に割られることがあります。このため運転者や交通安全関係者は「交通事故の原因にもなるので大切にしてください」と呼びかけています。

アドバイス・ミラーは道路が交差したところ、カーブ・ミラーは道路が曲ったところに立てられ、違った方向から進んで来る人や車がよく映るようになっています。現在町内で十五本ばかり立っており、運転者はこれがあるために安心して運転できるし、事故のない原因ともなっています。

ところが、これに石を投げたり棒でたたいたりして割る人があるらしく、しばしばヒビが出来ますこのため映りが悪くなり、運転者を残念がらせます。値段も一本が三万円から四万八千円程度かかり財政的にもすぐ取替えることが困難ですので、関係者は「どうか割らないようにしてください」と呼びかけています。

道路に物を置かないでください

最近、道路に建築材料を置いたり、店張りはみだしたりされる家が目立ってきます。これは道路を狭くするばかりでなく、交通をさまたげいずれは交通事故の原因にもなります。万一、事故が起きた場合はその人が賠償金を支払わなければならないこともありますので警察と町では今後、こうした道路の不正使用をきびしく取締ることになりました。現在、こうして不正使用されている方は早く仕末をしていただくとともに今後は道路にものをおかないようご協力をお願いいたします。なお、道路を使用する場合は町役場施設課へお申し出ください。

橋がひろくなりました

道幅が狭くて自動車の対向ができなかった御米橋（ごまいばし）のかけ替え工事が終り、大型車もゆっくり通れるようになりました。

町役場そばを流れる井関川。それを横断する国道一九〇号線。ここにかかる橋は昭和三年に架設されたコンクリート橋でしたが、幅員が四ばかりだったため大型自動車が通れば反対から来た車は停って待つことがしばしばでした。それはかりかん人が通るのも危険にさらされ、岩倉方面から通学する小学生は阿知須小学校を六十分前にして三百メートルも遠まわりする状態。自転車で通行中の中学生が自動車にはねられるなど不便と危険が伴なっていました。このため町では建設省山口工事事務所に陳情を続けてきましたがそれが認められ昨年十一月着工、総工費二千万円で四月上旬完成したものです。

（写真は大型も楽に通れるようになった御米橋）

新しい橋は鉄骨でできて長さ約二千ぱ、幅員九ぱ、そのうち下流側に幅員一、五ぱの歩道があり、自動車も人も安心して通れるようになりました。

なお国道一九〇号線でも二つ町内にある橋「上路石橋」は今年度に改修の予定です。

住所地でもできる 出生と死亡届

出生届は四月から住所や本籍地のある市町村役場でも受付けられることになり、届けが便利になりました。

これまで、出生届は生まれた土地の役場、また死亡届は死亡した土地の役場でないと受付けられませんでしたが、法が改正され、四月一日から住所または本籍地のある役場でも受付けることになりました。

例えば阿知須に本籍のある人が宇部市で出産した場合、従来は宇部市役所に届けをすることになっていましたが、今後は阿知須町役場でも届けができるようになったわけです。また本籍がなくても阿知須に住んでおれば、やはり阿知須町役場に届ければ受付けられることになり、わざわざ遠くに出かけて手続きをしなくてもすむようになるそれだけ便利になりました。

婚姻届など職業を

▼ことしは、十月一日を期して、全国一斉に国勢調査が行なわれますが、これに合わせて、戸籍関係の届け出が一部詳しく記入することになります。すなわち昭和四十五年四月一日から昭和四十六年三月三十一日までの間に出生もしくは死亡した場合、またはこの期間内に婚姻や離婚の届出をする場合の戸籍の届け書には「職業」および「産業」を記載していただくことになります。

これは、国勢調査と合わせて行なわれる人口動態調査に必要とするためで、この結果は厚生省で集計され、衛生行政はもちろんのこと、広く各種施策の資料として用いられることになっています。

記載はなるべく具体的にお願いします。わからない点は戸籍事務担当の係員がご指導します。

▼出生届や死亡届は住所地でも受付けられる場合は町役場施設課へお申し出ください。

殖やして獲る漁業へ
古船変じて魚のアパート

だんだん歳ってくる魚類を育てて獲るため、阿知須沖にこの程、古い船を沈め、魚のアパートができました。

これは漁業振興策の一環として町が計画し、県と阿知須漁業協組それに町の三者が経費を二分の一ずつ持ち寄り九十一万円で設置したものです。

場所は阿知須の漁業区域に当り、祖父祖母石（じいばあ石）の東寄り、飛石、藤重、幾代、五人罐屬り遊ぶ

北祝　部坂　秩子

三千院へ行く石道のしばらくは水澄む小川に沿い続けり　石田サダ子

急きの注文続く夕べにてわけもなく叱りし幼思う　寺河内　兼重　きぬ

農をやめてかかわりなき吾に国策の減反をとがとと友はかこちぬ　松代　二郎

砂合一

雨後の山よの帰り来し妻がひろげる蕨露ふくみ居り　浜　正司ウメノ

春雨にけぶる櫛の並木路石植えて　小　西　磯山　朝子

降り続く雨に打たれて木蓮の白き花びら重なりて落つ　西　条　磯中　靖子

粗雑なる心の日々にふと気付く薬の花しくれの人ごみの中

（写真は漁礁となった古船）

短歌

第十二回阿知須短歌会抜萃

春の潮音なく差して松原に若者四五人罐屬り遊ぶ　北祝　部坂　秩子

急きの注文続く夕べにてわけもなく叱りし幼思う　寺河内　兼重　きぬ

農をやめてかかわりなき吾に国策の減反をとがとと友はかこちぬ　松代　二郎

砂合一

雨後の山よの帰り来し妻がひろげる蕨露ふくみ居り　浜　正司ウメノ

春雨にけぶる櫛の並木路石植えて　小　西　磯山　朝子

降り続く雨に打たれて木蓮の白き花びら重なりて落つ　西　条　磯中　靖子

粗雑なる心の日々にふと気付く薬の花しくれの人ごみの中

砂合三

学業成就のおみくじも受け絵馬も受け花ぐもる干天の酌する　砂合一　田村　鮫子

幼稚園を今日終える孫の式に出で歌を聞けば思うるみぬ　岩倉西　中本　幸枝

漁重姿の父の写真眺めつつ子らは船乗りをあこがれて言う　西　条　原田　陽子

冷ゆる夜を巡り来て木蓮の白く咲きいる坂の上の家　砂合三　藤永ミツノ

紅の花一輪のひな弟を求め来りて心なくさむ　飛　石　砂村ヤス子

廃坑にそびゆる機振赤さびて人影のなき社宅続きぬ　恵比須　浜中百合子

転勤となりし兄弟を見送りて母は幾度も孫抱き上つる　新田　貞子

あの土手に椿咲けりと思いつつ動務を終えわれは急げり　岩倉上　上重　朝子

入院の吾をなぐさむ鶯の窓辺に来ては歌の間に鳴く　細田北　潮崎　一雄

わが活けし子の花は咲きかつ男ばかりの職場に香る　北祝　原田　英子

超ミニを主張する娘さんにさからわず仮縫のピンを打ち替えて居り　北祝　隅田美智子

遠く住む弟が事故で臥すと聞きれば急ぎて手紙書き居り　北祝　大野キヌエ

受験の日のあけたる子が微笑する寒のストーブに湯のたぎる音　北祝　大野キヌエ

次回の短歌会は五月二十三日（土）夜七時三十分から表書きぬさん宅（寺河内）で開催。

雑誌一首を十八日まで同家へ。

▽同会では月刊短歌誌「あしたい」を発刊します。希望者は教育委員会か大野キヌエさんまで申込みを。（浜田記）

満1歳

岩西前　牧野朋子ちゃん
文一さん　長女
昭和44年5月3日生まれ

慶弔録

婚姻

おめでとうございます
この喜びをいつまでも

◉岸本　香司	東			
君代（安光）	細	南		
◉田中　義信	宇部市神宇	部		
千代子（芥川）	引	野		
◉井上　英治	美（長田）	旦	北	
仁長	熊本県益城郡			
◉吉川　長靖	子仁子（坂野）	広島県高田郡	小	東
◉野原　真幸	小野田市有帆	砂	三	
幸子（重村）	山口市嘉川	北		
◉林　三樂	郎子（網田）	細	北	
◉磯部　繁男	仙	在	関	
恵子（水木）	井	関		
◉宮重　新次	浜	河内		
宏子（平田）	美祢郡美東町			
◉下河　孝子	宇部市東岐波			
◉中野　節二	岩	上		
敬子	細	南		
◉蔵岡　初美	小野田市小野田			
茂登	細	南		
◉水本　恵子（坂本）	神戸市長田区西山町			
昭治	井	関		
◉竹本　民恵（村上）	北	祝		
幸一	南	祝		
◉竹本　雅子（田中）	宇部市東岐波			
輝一	仙	在		
◉山本　八千代（坂田）	宇部市際波			
義	小	西		
◉長久　隆子（蔵谷）	恵	比須		
隆	浜	表		
◉本永　庸子（久保）	大島郡東和町			
明	河	内		
◉辻村　文男（藤井）	山口市下	堅	小路	
照	山口市佐	山	三	
◉山本　弘克（磯部）	砂	三		
正	山口市江	崎		
◉義永　政邦（栗谷）	岩	上		
正子	門	松		
◉藤井　信悦（永山）	宇部市東岐波			
◉藤井　頼道	吉敷郡小郡町			
フミヨ（為田）	岩	上		
◉吉村　勲（山田）	吉敷郡秋穂町			
和子	飛	石		
◉堅田　良登	向	井関		
美智子（田辺）	山口市深溝			
◉藤井　宏志	旦	西		
紀代子（杉山）	防府市台	道		
信義	門	松		
◉竹重　好江（蔵田）	厚狭郡楠町			

出生

おめでとうございます
ご健康をお祈りします

父の氏名	続柄	子の名	月日	部落
村重　秀実	長男	和彦	2.16	旦西
上野　敏也	2男	裕治	3.25	東
田中　隆行	長女	小百合	3.24	小南
武永　吉弘	長男	一弘	3.23	浜
細本　雄二	長男	健二	4.8	小西
寺岡　宏	長女	由香里	4.3	浜表
松永　勝登	長男	保雄	4.5	浜表
北野　利昭	2女	祥子	4.8	旦北
児玉　巳之幸	長男	充輝	4.18	東
林　國雄	長女	里美	4.15	北祝
正司　和夫	3女	みどり	4.25	浜

死亡

おくやみ申し上げます

氏名	死亡月日	年令	部落
藤本　タネ	3.29	75	門松
蔵富士イエ	4.6	86	井関
上田　ソノ	4.6	69	恵比須
中川　興作	4.6	82	南祝
田中　真文	4.7	63	向井関
長尾　海一	4.7	74	河内
藤田祐九郎	4.11	80	飛石